

■ 会社情報／株式情報

会社概要（2023年8月31日現在）

商号	株式会社SHIFT
代表者	代表取締役社長 丹 下 大
本社	〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39MTビル TEL:03-6809-1165
設立	2005年9月
資本金	11百万円
事業内容	ソフトウェアの品質保証、テスト事業
取得特許	特許第5787404号 コンピュータプログラムのテスト仕様を生成するための装置及びプログラム 他11件

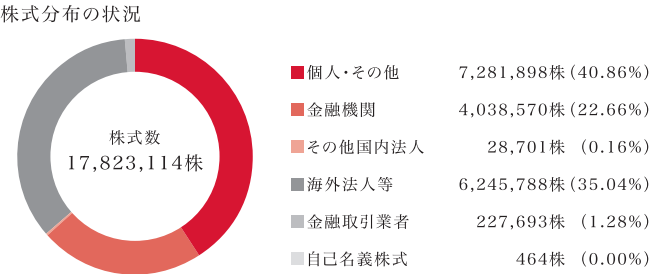
役員（2023年11月24日現在）

代表取締役社長	丹 下 大
取締役副社長	佐々木 道夫
取締役	小林 元也
取締役	服部 太一
取締役	村上 誠典
取締役	元谷 美美子
取締役	Amy Shigemi Hatta
取締役 監査等委員	新井 優介
取締役 監査等委員	中垣 徹二郎
取締役 監査等委員	谷 中 直子

（注）村上誠典、元谷美美子、Amy Shigemi Hatta、新井優介、中垣徹二郎及び谷中直子は、社外取締役であります。

株式の状況（2023年8月31日現在）

発行可能株式総数	50,000,000株	
発行済株式の総数	17,823,114株	
株主数	4,267名	
上位10名の株主		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
丹下大	5,606,800	31.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,001,600	11.23
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,260,892	7.07
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,178,000	6.60
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	642,917	3.60
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	397,800	2.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口・75876口)	239,570	1.34
GOVERNMENT OF NORWAY	181,517	1.01
MSIP CLIENT SECURITIES	159,800	0.89
小林元也	152,400	0.85



グループ従業員数1万人とともに、
売上高1,000億円の
早期達成へ邁進。

唯一無二の仕組みと経営チームで
SHIFTの圧倒的な飛躍を目指す。

ここが
ポイント！
グループ従業員数二万人を
ついに突破
勢いをさらに増し
成長戦略を前倒し
さらなる飛躍を目指し、
社外取締役に八田氏と谷中氏の
女性二名が就任

グループ従業員数10,000人を超え、
挑戦と成果が形づくる“変化”と、
盤石な事業基盤の構築を推進

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、当社2023年8月期(2022年9月1日～2023年8月31日)のビジネスレポートを
お届けいたします。



2023年8月期を振り返って

2023年8月期は、既存／新規の両顧客分類において、SHIFTグループが大きく躍進した一年となりました。とりわけ、業務効率化の徹底とリスクリング施策の充実などによって、売上総利益率が過去最高水準で着地。グループ全体で高収益体質化が進みました。

長期的な事業成長の基盤となる人的資本投資におきましても、10万人規模の従業員を支える将来の組織像を視野に、今年度も順調に追行し、事業成長に大きく貢献しております。

また、市場におけるSHIFTの認知向上なども後押しし、ハイスキル人材の採用が加速しました。上述のリスクリングによって既存メンバーのスキル底上げも奏功、開発工程のより上流から携わる高難易度のプロジェクト参画も進み、対面するすべての顧客市場で、前年を大きく上回る売上高成長を達成しています。

さらに、成長戦略の重要な柱として、事業面のシナジー最大化と、よりよい日本の未来を目指したM&Aも積極的に推進し、本年度、日本トップのM&A件数*を実現いたしました。それに加え、PMI(合併後の統合プロセス)も、絶え間ない実務遂行により、そのノウハウを蓄積し続け、より深化をさせています。

結果、2023年8月期は、昨対比で売上高135.7%、営業利益167.3%、EBITDA 158.7%の成長で着地しました。これはSHIFTグループ全体での収益力が着実に強化された証明であると考えております。

2024年8月期の取り組み

2024年8月期は、売上高1,000億円を超えて、その先の企業成長を達成するための通過点として、新たなステージに向かい、力強い成長曲線を描くための事業展開を進めてまいります。

2024年8月期の期初にはSHIFT本社を拡大移転いたしました。SHIFTにおけるオフィスは、単なる「空間」や「機能」ではなく人的資本投資であり、従来のオフィスの常識にとらわれず、徹底活用することで従業員のモチベーション向上、事業成長力の強化につなげてまいります。

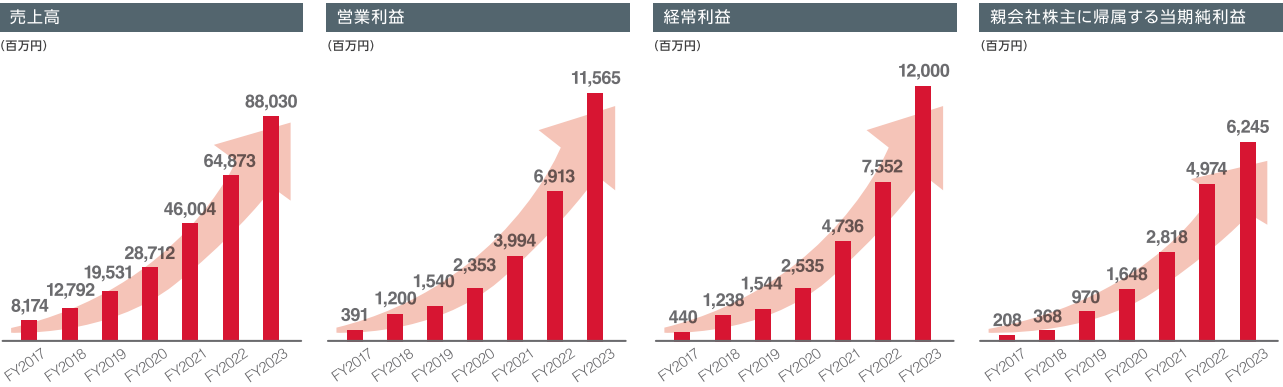
また、2023年8月期より本格的に取り組んでおります生成AIにつきましては、エンジニアの業務をより効率化し、生産性を向上させるツールととらえて追求を続け、その活用を最適化していく所存です。

今後も「社会課題を解決する会社」として成長の加速度を上げ、「SHIFT2000」のターゲット年度を前倒しし、売上高3,000億円、5,000億円、そして1兆円を実現するため、SHIFTグループにしかできない成長軌道を描きながら突き進んでまいります。

引き続き、事業成長と企業価値向上にこだわり、変化を続けながら、社会をより強く、より明るくすべく、日本を代表するグループ企業を目指してまいりますので、ご期待いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 丹下 大

毎年、大きな成長を前提にした業績目標を立て、それを上回り続けてきました。FY2023は売上高・営業利益共に業績目標を達成(売上高:101.2%、営業利益:123.0%)。高い稼働率を伴った適切な案件へのアサイン、教育を通じたエンジニア単価の上昇など、売上総利益率の構造的な向上を背景の一つにし、収益性の改善と売上高の成長を両立することができました。



2023年8月期の振り返り

2023年8月期は、「アカウント／営業」「人事／採用」「サービス／技術」「M&A／PMI」のどの戦略領域においても確固たる成果をあげ、成長戦略の想定達成時期を前倒しするに至りました。

アカウント／営業	人事／採用
1 営業人数 単体95人(61人) 2 新規開拓顧客単価 単体1,280万円／年(952万円／年) 3 顧客数 連結1,641社(1,368社) 4 顧客単価 連結550万円(457万円)	1 採用人数 連結2,630人(2,497人) 2 人的資本投資額 連結69億円(56億円) 3 10万人採用を見据えた従業員満足度向上施策 4 グループ会社に対する採用ノウハウの展開
サービス／技術	M&A／PMI
1 高価格帯売上成長率 155% 2 アジャイル売上拡大 3 トップガン検定拡充による売上単価増加 4 SaaS特化型ERPサービス統合会社の設立	1 M&A成約件数 9件(2件) 2 M&A体制の強化 10人(5人) 3 意向受率率 41.2%(21.4%)

大きく規模を拡大してもなお、
圧倒的な人材採用力と人材定着力で、さらなる成長を目指す

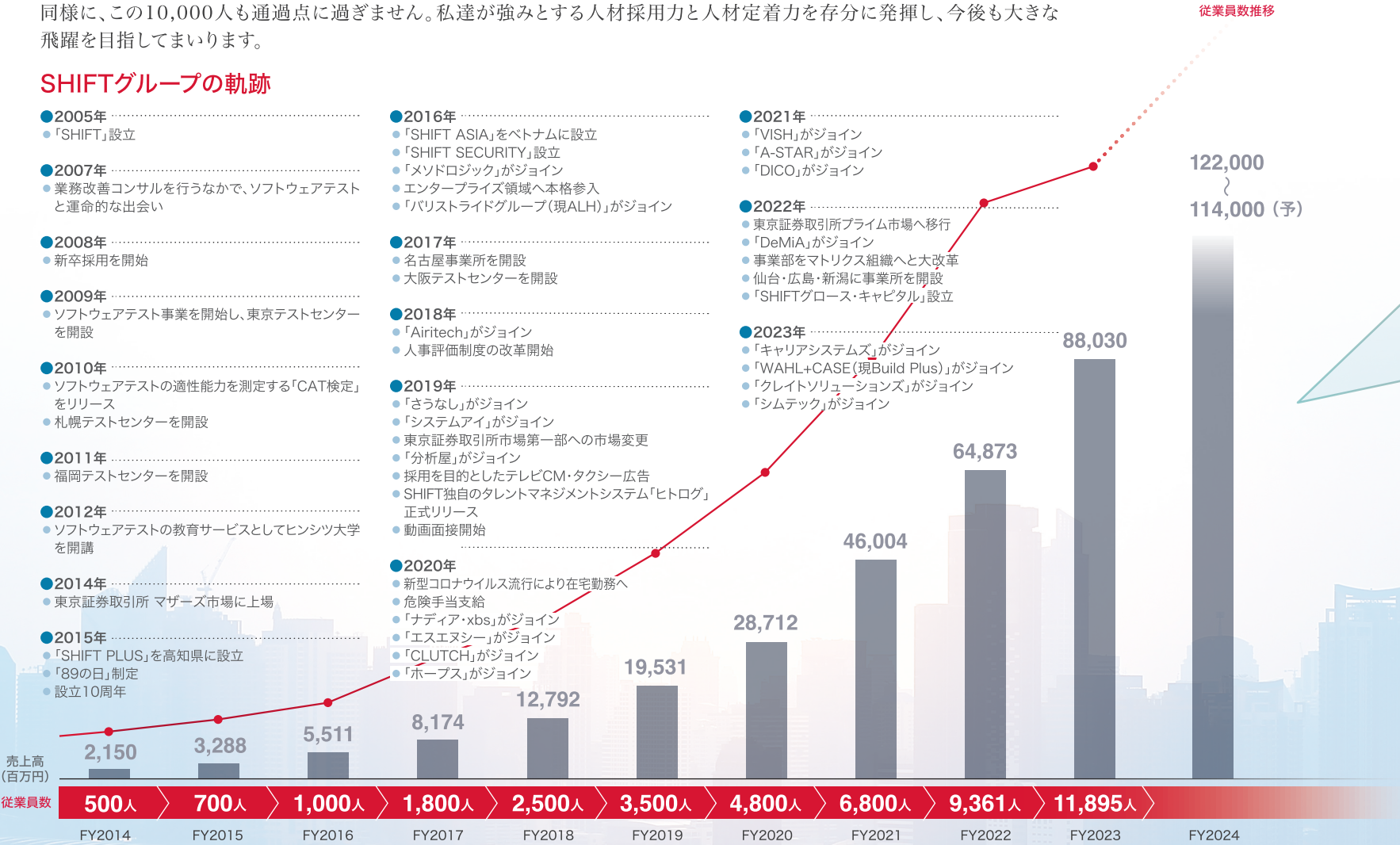
2005年に代表丹下がたった1人でSHIFTを創業してから18年。ゆるぎない企業理念に惹かれて情熱をもった多様な人材が集まり、FY2023にはグループ従業員数が10,000人を超えました。しかし、これまで迎えた数々のターニングポイントと同様に、この10,000人も通過点に過ぎません。私達が強みとする人材採用力と人材定着力を存分に発揮し、今後も大きな飛躍を目指してまいります。

SHIFTグループの軌跡

- 2005年
●「SHIFT」設立
- 2007年
●業務改善コンサルを行うなかで、ソフトウェアテストと運命的な出会い
- 2008年
●新卒採用を開始
- 2009年
●ソフトウェアテスト事業を開始し、東京テストセンターを開設
- 2010年
●ソフトウェアテストの適性能力を測定する「CAT検定」をリリース
●札幌テストセンターを開設
- 2011年
●福岡テストセンターを開設
- 2012年
●ソフトウェアテストの教育サービスとしてヒンシツ大学を開講
- 2014年
●東京証券取引所 マザーズ市場に上場
- 2015年
●「SHIFT PLUS」を高知県に設立
●「89の日」制定
●設立10周年

- 2016年
●「SHIFT ASIA」をベトナムに設立
●「SHIFT SECURITY」設立
●「メソドロジック」がジョイン
●エンタープライズ領域へ本格参入
●「バリストライドグループ(現ALH)」がジョイン
- 2017年
●名古屋事業所を開設
●大阪テストセンターを開設
- 2018年
●「Airitech」がジョイン
●人事評価制度の改革開始
- 2019年
●「さうなし」がジョイン
●「システムアイ」がジョイン
●東京証券取引所市場第一部への市場変更
●「分析屋」がジョイン
●採用を目的としたテレビCM・タクシー広告
●SHIFT独自のタレントマネジメントシステム「ヒトログ」正式リリース
●動画面接開始
- 2020年
●新型コロナウイルス流行により在宅勤務へ
●危険手当支給
●「ナディア・xbs」がジョイン
●「エスエヌシー」がジョイン
●「CLUTCH」がジョイン
●「ボーブス」がジョイン

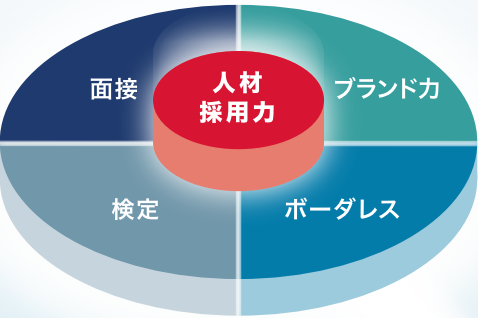
- 2021年
●「VISH」がジョイン
●「A-STAR」がジョイン
●「DICO」がジョイン
- 2022年
●東京証券取引所プライム市場へ移行
●「DeMiA」がジョイン
●事業部をマトリクス組織へと大改革
●仙台・広島・新潟に事業所を開設
●「SHIFTグロース・キャピタル」設立
- 2023年
●「キャリアシステムズ」がジョイン
●「WAHL+CASE(現Build Plus)」がジョイン
●「クレイトソリューションズ」がジョイン
●「シムテック」がジョイン



SHIFTグループを10,000人規模へと押し上げた
「人材採用力」と「人材定着力」

同じ志をもつ人材を広く採用し、ともに情熱をもってSHIFTグループの成長を追求していく。「人材採用力」と「人材定着力」、この2つを融合させ、グループ従業員数10,000人という規模を実現しました。

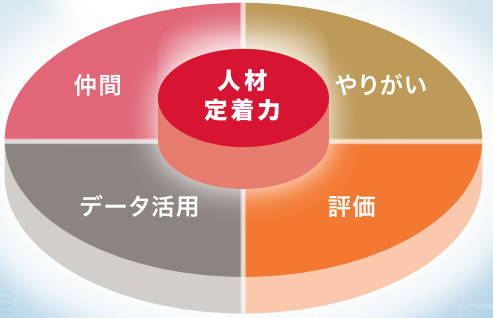
人材採用力



- ブランド力
SHIFTの人的資本経営に関して、戦略的にさまざまな媒体へ露出。さらに人材を大切にすることを実践し、ブランド力を醸成することで、圧倒的な母集団の形成を実現。
- ボーダレス
仙台・広島・新潟に新たに事業所を開設し、都市部だけではなく、積極的に地方人材を獲得。また、海外へも採用母集団を拡大し、地域、国籍を問わず、ボーダレスな採用を実施。
- 検定
CAT検定により、IT未経験者の素養を見抜いて、IT業界で活躍できる仕組みを確立。幅広い人材がSHIFTで活躍することが可能に。
- 面接
動画面接を導入し、それまで45日かかっていた採用プロセスをたった3日に短縮。市場評価の高い優秀な人材もより多く獲得できるように。



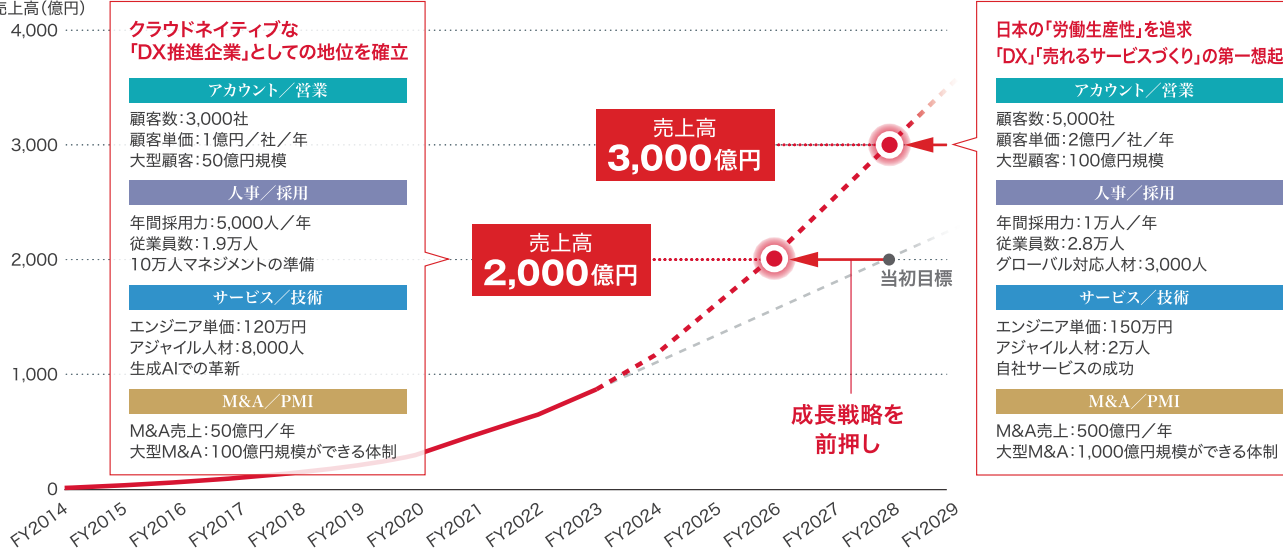
人材定着力



- やりがい
達成感や給与、裁量など、従業員一人ひとりがどのような事柄から「やりがい」を得られるのか把握し、施策に活用。
- 評価
やりがいのある仕事を提供し、成果をあげた人材に対しては、適正な給与で評価することを重視。年間平均昇給率は10.2%。※2022年8月実績
- データ活用
ヒトログで従業員一人ひとりのデータを管理。450項目にもおよぶデータで人となりや、個々の状況を可視化し、適正な評価や効果的な施策を実施。
- 仲間
コミュニティや部活動の活性化、イベントの実施など、ともに働くさまざまな仲間と交流し、よい関係を築けるよう、その施策も重点的に増強。

成長戦略を前倒し。
これまでの勢いをさらに増し、目標の早期達成へ

成長の加速度を上げ続けて事業を推進することで、FY2023に売上高880億円を実現。この成長の加速度をよりいっそう上げ、FY2025としていた売上高1,000億円の目標達成を、FY2024に前倒しました。さらに、売上高2,000億円を目指す「SHIFT2000」のターゲット年度も前倒し。クラウドネイティブな「DX推進企業」として構造化されたビジネスモデルを確立することにより、「SHIFT3000」の早期達成も目指していきます。



多様な業界の顧客にアプローチし、ノウハウを蓄積。そのすべての領域で売上高が大きく伸長

銀行	銀行・金融機関 FY2022 36億円 ▶ FY2023 47億円 +29%	コンテンツ	ネット配信・広告・ネットメディア FY2022 29億円 ▶ FY2023 32億円 +8%	自動車・製造	自動車・サプライヤ・各種製造業 FY2022 24億円 ▶ FY2023 47億円 +97%
公共決済	官公庁・地方自治体・公共インフラ FY2022 19億円 ▶ FY2023 25億円 +30%	プラットフォーム	ネットサービス・ECプラットフォーム FY2022 22億円 ▶ FY2023 28億円 +25%	パッケージ	会計・販売・人事・CRM/パッケージ FY2022 23億円 ▶ FY2023 35億円 +51%
保険証券	保険・証券業・仮想通貨 FY2022 22億円 ▶ FY2023 40億円 +78%	人材教育	人材・派遣・介護・教育・HRTech FY2022 21億円 ▶ FY2023 29億円 +38%	エンタープライズ	SAP・基幹システム FY2022 32億円 ▶ FY2023 58億円 +80%
チェーンストア	コンビニエンスストア FY2022 26億円 ▶ FY2023 37億円 +43%	通信メディア	通信インフラ・各種メディア FY2022 43億円 ▶ FY2023 51億円 +18%	エンタメ	ソーシャル・コンシューマゲーム関連 FY2022 39億円 ▶ FY2023 55億円 +42%
流通	量販・専門リテール・小売・物流業 FY2022 38億円 ▶ FY2023 48億円 +27%	産業	エネルギー・社会インフラ FY2022 38億円 ▶ FY2023 46億円 +21%	グループ会社	グループ会社合算 FY2022 236億円 ▶ FY2023 304億円 +29%

※合計値の誤差を少なくするため小数点第一位を四捨五入しています。

新たな社外取締役が就任

FY2024より、新たな社外取締役としてAmy Shigemi Hatta氏、谷中直子氏を迎えることとなりました。第一線で活躍する方々の新たな視点と強力なバックアップにより、より盤石な体制でSHIFTを大きく前進させていきます。

社外取締役 Amy Shigemi Hatta

20年以上の投資家経験を活かし、SHIFTの成長に貢献を

社外取締役 監査等委員 谷中 直子

法務・コンプライアンスの面から、さらに加速するSHIFTの成長をサポート

ウォールストリートでの年金基金運用経験から、私はつねに「ワクワク心躍る会社」を見つけることを心がけてきました。SHIFTはその特別な一社です。SHIFTの経営陣は、SHIFTがいまも成長の途中であり、世界的企業への成長に向けて、世界基準のガバナンス体制を確立し、投資家の期待に応える基盤を構築する必要性を認識しています。そのため、このたびの私の参画が、米国の取締役会で主流となりつつある「ボード3.0モデル*」の導入のきっかけとなれば幸いです。私はSHIFTの先進的な文化に共感し、20年以上の投資家経験を活かし、SHIFTの成長に貢献できることを誇りに思います。SHIFTの未来に対するワクワク感を、投資家の皆様と共有できることを楽しみにしています。

プロフィール

1996年、Astra AB (現 AstraZeneca PLC) 入社。Merrill Lynch & Co. (現 BofA Securities)、TIAA-CREF (現 Nuveen a TIAA Company) を経て、2023年に Aglow Management Inc. 設立。Nomura Holding America Inc. では Outside Director を務める。

※ボード3.0とは、新たな取締役会モデルであり、プロの投資家をこれまでの社外取締役に加え、経営戦略を策定していきます。

プロフィール

2001年、弁護士登録。アンダーソン・毛利・友常法律事務所を経て、東京国際法律事務所に入所。2022年よりSHIFTグロース・キャピタル 監査役(現任)、2023年からは三菱地所物流リート投資法人 監督役員(現任)も務める。

リスクを徹底的に管理し、事業成長の成功確度を高めるSHIFTのコーポレート・ガバナンス体制

【 各分野のスペシャリストが集結 】

コーポレート・ガバナンス体制の強化

経営体制の強化

内部統制の強化

規律あるM&Aの強化

社外取締役 村上 誠典
シニフィアン共同代表

社外取締役 元谷 美美子
アパホテル株式会社 代表取締役
アパホールディングス株式会社 取締役

社外取締役 監査等委員 新井 優介

社外取締役 監査等委員 中垣 徹二郎
Draper Nexus パートナー

【 唯一無二の経営チーム 】

代表取締役社長 丹下 大

取締役副社長 佐々木 道夫

取締役兼 CFO 服部 太一

取締役 小林 元也

取締役 小林 元也

上席執行役員 菅原 要介

上席執行役員 細田 俊明